
第 34 回
日本家族社会学会大会
プログラム

2024 年 9 月 7 日（土）・8 日（日）

開催校・会場：法政大学（市ヶ谷キャンパス）

大会日程

会場：法政大学（市ヶ谷キャンパス）

▼第1日 2024年9月7日（土） 受付開始 9:15～ 大内山校舎4階

10:00～12:30	自由報告(1) ① 結婚 ② 子ども・教育 ③ ネットワーク テーマセッション(1) 性的マイノリティの立場からみるパートナー・世帯・家族——「全国 SOGI 調査」の分析結果から	Y502 Y504 Y505 Y506
12:30～14:00	昼食・委員会	
14:00～16:30	自由報告(2) ④ 若者 ⑤ ケア・仕事 ⑥ 子育て テーマセッション(2) 家族と女性の四半世紀——全国家庭動向調査を用いた計量的研究 開催校企画国際セッション インターセクショナルリティの視点から家族と親密関係を再考する (Rethinking Families and Intimate Relationships from an Intersectional Perspective)	Y502 Y503 Y504 Y505 Y506
16:45～17:15	会長講演	Y406
17:15～18:00	総会	Y406
18:00～18:15	第3回奨励著書賞授賞式	Y406
18:30～19:30	交流会（茶話会）	外濠6階のラウンジ

▼第2日 2024年9月8日（日） 受付開始 9:15～ 大内山校舎4階

10:00～12:30	自由報告(3) ⑦ 世代 ⑧ パートナーシップ テーマセッション(3) 産業・地域から家族と労働をとらえなおす テーマセッション(4) 東アジアの家族変動論を考えるために——韓国の事例を手がかりに	Y502 Y503 Y504 Y505
12:30～14:00	昼食・委員会	
14:00～16:30	シンポジウム：研究法の活用から考える新時代の家族研究	富士見ゲート G201

※ 今大会も懇親会は開催しませんが、交流会（お茶とお菓子）を開催予定です。
（参加登録時に参加有無を選択ください）

大会プログラム

第1日目 9月7日(土)

受付時間 9:15～

午前の部 10:00～12:30

自由報告(1)

①結婚(Y502)

- ①-1 COVID-19 パンデミック後期の東アジアにおける
結婚意欲と出生意欲——労働時間と収入の
回復度の影響
- ①-2 結婚の前駆から結婚の剥奪へ、そして結婚からの離脱へ
——1982～2021 年における未婚の類型化と
その構成変化
- ①-3 結婚難時代を生きるモンゴル人男性たちの
ライフストーリー——内モンゴル東部農村地域
における事例研究
- ①-4 独自性と同調性：愛情の結びつきと意味づけ
——現代中国の若者の性、恋愛、結婚に対する理解
- ①-5 大学生における過去の「性被害」と結婚関連意識・行動

司会 佐々木尚之(津田塾大学)

- 松田茂樹(中京大学)
- 梁凌詩ナンシー(日本体育大学)
- 岩澤美帆(国立社会保障・人口問題研究所)
- 余田翔平(国立社会保障・人口問題研究所)
- 鳥 英嘎(中央大学・院)
- 李 相君(新潟大学・院)
- 小島 宏(早稲田大学)

②子ども・教育(Y504)

- ②-1 「努力は報われる」と考える子どもと学業成績の関連
- ②-2 継／養親の血縁意識——継／養子と血縁がないことに
対する意味づけ
- ②-3 家庭における過剰な教育の社会要因の考察
——教育虐待を行った親のライフヒストリーに
着目して
- ②-4 虐待下にある母子の背後に存在する「推定父」の
歴史的分析
- ②-5 児童養護施設経験者にとっての「きょうだい」
——入所経験と退所後の関係に着目して

司会 野辺陽子(日本女子大学)

- 小西 凌(三重大学・院)
- 久保原大(東京都立大学)
- 森田友華(ワンズハウス株式会社,
武田塾川口校)
- 戸井田晴美(一橋大学・院)
- 三品拓人(関西大学)

③ネットワーク(Y505)

- ③-1 おやじの会は参加者に“ケア”をもたらすのか
- ③-2 向社会的行動とパーソナルネットワーク
——PPN2023 調査から
- ③-3 病と家族との共存——小児がん患者家族会が果たす
機能に注目して
- ③-4 トランスナショナルな移動に伴う埋葬地選択と家族
——日本のムスリムを事例として

司会 久保桂子(和洋女子大学)

- 清水憲志(中国短期大学)
- 荒牧草平(大阪大学)
- 笠井敬太(桃山学院大学)
- 本多真隆(立教大学)
- 岡井宏文(京都産業大学)

③-5 男女共同参画社会の防災施策の地域課題
——大阪市「防災と施策に関する調査に関する
調査」から

○服部良子（大阪市立男女共同参画センター
クレオ大阪中央）
中村聡衣（一般財団法人大阪男女
いきいき財団）

テーマセッション(1) (Y506)

性的マイノリティの立場からみるパートナー・世帯・家族 ——「全国 SOGI 調査」の分析結果から

司会 元山零菜(北陸先端科学技術大学院大学)

オーガナイザー 釜野さおり(早稲田大学)

平森大規(法政大学)

- 1 選択肢回答法による調査から見る世帯・家族の多様性
- 2 日本における性的指向・性自認と人口移動
- 3 日本における性的指向・性自認およびパートナー関係と
心身の健康
- 4 学校でのいじめやハラスメントの長期的影響と
家族状況が及ぼす効果
- 5 日本における性的指向・性自認と社会経済的不平等
——ジェンダーと世帯内意思決定に着目して

小山泰代（国立社会保障・人口問題研究所）
申 知燕（お茶の水女子大学）
釜野さおり（早稲田大学）
岩本健良（金沢大学）
平森大規（法政大学）

自由報告(2)

④若者 (Y502)

- ④-1 現代日本における若年・壮年者の生活満足度の規定要因
——ライフコースアプローチからの検討

- ④-2 ヤングアダルトケアラーと仕事

- ④-3 中国大都市部在住の若年層女性はどのような
ライフコースを希望しているのか?
——家族モデル視点からの考察

- ④-4 【報告キャンセル】日本のヤングケアラー支援にみる
家族の位置——<家族まるごと支援 (Whole Family
Approach)>を中心として

司会 湯澤直美 (立教大学)

李 擎月 (東北大学・院)

長谷川拓人 (成蹊大学・院)

劉 宇婷 (同志社大学・院)

~~斎藤真緒 (立命館大学)~~

⑤ケア・仕事 (Y503)

- ⑤-1 妻の収入と家事との関連は変化したのか?

- ⑤-2 男性育休取得の規定要因における質的検討
——育休取得男性の語りから

- ⑤-3 非婚出生と職業の関係

- ⑤-4 【報告キャンセル】韓国における高齢女性の
就業変化からみる高齢夫婦の家事分担

司会 巽真理子 (大阪公立大学)

柳下 実 (佛教大学)

岩城はるみ (関西大学・院)

仙田幸子 (東北学院大学)

~~金 允恩 (東京大学)~~

⑥子育て (Y504)

- ⑥-1 在日外国人子育て家族の住まい

- ⑥-2 トランスジェンダー女性／男性の子を持つ母親の
経験の比較

- ⑥-3 Who Cares for Firefighters' Children?
Exploring Parental Allowance, Shift Work System,
and Gender Dynamics among Firefighters in Taiwan

- ⑥-4 中国における「隔世育児」の質的分析
——孫と同居する祖父母に着目して

- ⑥-5 Family Strategy on Childcare: Return Migration in
Two Generations of Rural-Urban Migrant Families in China
— from a Life-course Approach

司会 石井クンツ昌子

(お茶の水女子大学)

孫 詩彥 (国際日本文化研究センター)

勝又栄政 (立命館大学・院)

呉 惠如 (台湾国立清華大学・院)

飯田愛紀 (奈良女子大学)

郭 馨冉 (上智大学・院)

テーマセッション(2) (Y505)

家族と女性の四半世紀：全国家庭動向調査を用いた計量的研究

オーガナイザー・司会 齊藤知洋（国立社会保障・人口問題研究所）

討論者 保田時男（関西大学）

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1 認知的家事の分担と妻の生活満足度 | 竹内麻貴（国立社会保障・人口問題研究所） |
| 2 子育て経験が子育て支援の提供に及ぼす影響 | 松井真一（愛知学院大学） |
| 3 親子の相互援助関係の実証分析
——きょうだい構成に着目して | 苔米地なつ帆（大阪経済大学） |
| 4 家族内の高齢者ケアと公的サービスの利用パターン | 西野勇人（東日本国際大学） |

開催校企画国際セッション

インターセクショナル리티の視点から家族と親密関係を再考する (Y506)

Rethinking Families and Intimate Relationships from an Intersectional Perspective

オーガナイザー・司会 平森大規（法政大学）

オーガナイザー コーダイアナ（法政大学）

佐伯英子（法政大学）

討論者 新ヶ江章友（大阪公立大学）

- | | |
|---|----------------|
| 1 Family Formation among Transgender Men
in Contemporary Japan | 佐伯英子（法政大学） |
| 2 家族形成におけるセクシュアリティとエスニシティ
——海外へ移住する韓国人性的マイノリティ女性
を事例に | 申 知燕（お茶の水女子大学） |
| 3 Intimate Intersections: Exploring ‘Racework’ in
Interracial Gay Male Relationships in Japan | 金子初輝（香港大学） |
| 4 Imagined Family Trajectories and Risk Dispositions
among Young Gay Men in Hong Kong:
Intersections of Class and Sexuality | カンヘンリー（香港大学） |

会長講演 (Y406)	16 : 45～17 : 15
-------------	-----------------

総会 (Y406)	17 : 15～18 : 00
-----------	-----------------

第3回奨励著書賞授賞式 (Y406)	18 : 00～18 : 15
--------------------	-----------------

交流会（茶話会）（外濠6階のラウンジ）	18 : 30～19 : 30
---------------------	-----------------

第2日目 9月8日(日)

受付時間

9:15~

午前の部

10:00~12:30

自由報告(3)

⑦世代(Y502)

- ⑦-1 スウェーデンにおける次世代育成支援施策と実践
(その1)——子ども・若者の余暇活動と居場所
- ⑦-2 スウェーデンにおける次世代育成支援施策と実践
(その2)——学童保育
- ⑦-3 デンマーク・子育て世代のケアとインフォーマルな
サポートネットワーク
- ⑦-4 デンマーク・向シニア世代のケアとライフコース
- ⑦-5 1950年代、1980年代生まれの人々のライフコースと
ケア経験——名古屋市圏でのインタビュー調査から

司会 矢野邦章(大阪商業大学)

- 高橋美恵子(大阪大学)
善積京子(追手門学院大学)
斧出節子(世界人権問題研究センター)
松田智子(大阪大学)
釜野さおり(早稲田大学)
- 松田智子(大阪大学)
善積京子(追手門学院大学)
斧出節子(世界人権問題研究センター)
高橋美恵子(大阪大学)
釜野さおり(早稲田大学)
- 青木加奈子(京都ノートルダム女子大学)
宮坂靖子(金城学院大学)
- 宮坂靖子(金城学院大学)
青木加奈子(京都ノートルダム女子大学)
山根真理(愛知教育大学)

⑧パートナーシップ(Y503)

- ⑧-1 同性愛者の家族形成をめぐるフランス社会の
変化と課題——当事者の語りから
- ⑧-2 現代日本における若者の異性交際関係の多様性
——「恋愛」の曖昧さの視点から
- ⑧-3 トークニズム(tokenism)としての
「同性パートナーシップ制度」
——同性間での子育ての現状からみた分析
- ⑧-4 性愛を伴わない「友情結婚」からみる親密性への問い
——友情結婚当事者へのインタビュー調査から

司会 赤枝香奈子(追手門学院大学)

- 牧 陽子(上智大学)
- チョウシンヨウ(お茶の水女子大学・院)
- 新々江章友(大阪公立大学)
- 酒井大生(会社員)
白井千晶(静岡大学)

テーマセッション(3)(Y504)

産業・地域から家族と労働をとらえなおす

オーガナイザー・司会 嶋崎尚子(早稲田大学)

討論者 片岡佳美(島根大学)

- 1 尾州毛織物産地にみる小経営としての「家」のゆくえ
2 共稼ぎ労働文化のなかの女性と家族——織物産地の事例分析
3 中年既婚女性の家族意識の変容
4 子どもの進路選択にみる衰退産業における家族戦略
5 〈社宅都市〉三池にみる産業と家族
- 前田尚子(名古屋市立大学)
木本喜美子(一橋大学名誉教授)
中西泰子(相模女子大学)
笠原良太(実践女子大学)
嶋崎尚子(早稲田大学)

テーマセッション(4) (Y505)

東アジアの家族変動論を考えるために——韓国の事例を手がかりに

オーガナイザー・司会 野辺陽子（日本女子大学）

討論者 本多真隆（立教大学）

齋藤圭介（岡山大学）

土屋 敦（関西大学）

- | | |
|--|-------------|
| 1 家族論における「伝統」の扱われ方
——近代朝鮮家族史の視点から | 田中美彩都（東洋大学） |
| 2 現代韓国社会における若年男性の家族形成意識
——韓国内の研究動向とインタビュー調査を中心に | 柳 煌碩（日本大学） |
| 3 韓国の子ども家庭福祉政策およびソーシャルワークを
めぐる動向——子どもの権利に焦点を当てて | 姜 民護（同志社大学） |

昼食・委員会	12 : 30~14 : 00
--------	-----------------

午後の部	14 : 00~16 : 30
------	-----------------

シンポジウム（富士見ゲート G201）

研究法の活用から考える新時代の家族研究

司会 松木洋人（早稲田大学）

木戸 功（聖心女子大学）

討論者 村上あかね（桃山学院大学）

- | | |
|---|---------------|
| 1 家族社会学におけるサーベイ実験の可能性 | 五十嵐彰（大阪大学） |
| 2 計量歴史社会学アプローチと家族研究
——東京大学社会科学研究所「労働調査資料」の
復元2次分析 | 渡邊大輔（成蹊大学） |
| 3 会話分析と家族社会学
——子育てひろばにおける「近しさ」の実践 | 戸江哲理（神戸女学院大学） |

連絡事項

大会参加申込

大会参加を希望される方は、期限までにご自分の区分（※）に沿った方法で申し込み・お支払いください。

区分	参加費	申込期間	参加申込方法	お支払い方法
一般会員	4,000 円	7 月 1 日（月） ～ 8 月 26 日（月） 24 時迄	事前 Web 申込	事前クレジット決済
学生・減額・終身 会員	2,500 円		事前 Web 申込	事前クレジット決済
非会員一般	5,000 円		事前申込書メール提出	会場で現金支払い
非会員学生	3,000 円		事前申込書メール提出	会場で現金支払い

※「区分」は参加申込時のものです。

【会員（一般・学生・減額・終身会員）の方】

会員は、事前の参加申込と参加費納付(クレジット決済)が必要です。大会当日の参加申込はできませんので、ご注意ください。

日本家族社会学会第 34 回大会ホームページからお申し込みください。

ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号（数字 8 桁；上 4 桁は数字の 0、下 4 桁は会員名簿に記載されている数字）です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

クレジットカード決済方法について

Web 上で参加申込される際に、決済用のクレジットカードの所有者名、カード番号、有効期限を入力してください。参加申込と参加費支払いが同時に完了されます。登録および決済が完了すると、「日本家族社会学会第 34 回大会「参加登録」受付通知」の件名で完了をお知らせする通知メールが自動配信されます。なお、カード明細には「国際文献事務センター」と表示されます。

※領収書は、当日会場で名札兼領収書の形式でお渡しします。

※参加申込期限を厳守してください。期限を過ぎての参加申込は受付できません。また、いかなる理由でも、参加費は払い戻しません。

減額会員の方

今年度の会費減額申請の受付は 2024 年 5 月 31 日に終了しています。減額会員の区分が適用されるのは現段階で承認を受けている方のみです。

【非会員の方】

非会員の方は、大会ホームページより、非会員専用の参加申込申請フォーム（Excel 形式）に必要事項を記入の上、ヘルプデスク<jsfs-desk☆conf.bunken.co.jp>までメール添付で提出してください（☆を@に変更してお送りください。大会ヘルプデスクへの提出期間：7 月 1 日（月）～8 月 26 日（月）24 時迄）。

なお、公開シンポジウムのみ参加希望の非会員の参加費は無料です。

<https://www.jsfs-family sociology.org/conf/2024/entry.html>

その他の注意事項

- **報告要旨集**

報告要旨集は**電子版の Web 要旨集のみ**となります。Web 要旨集は、8 月 28 日（水）に大会 HP 上で公開される予定です。大会当日の会場でのダウンロードはサーバーにつながりにくくなることが想定されるため、**できるだけ事前にダウンロードしてからご参加ください**。

- **茶話会(交流会)**

大会第 1 日目（9 月 7 日）の総会終了後（18：00～19：00）、外濠校舎 6 階ラウンジにて開催します。お茶やお菓子をいただきながら、楽しいひとときを過ごせればと考えています。ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、お茶とお菓子を準備する都合上、参加申込時に参加の有無を選択ください。

- **昼食**

両日とも、事前にお弁当購入の申込を受け付けます。お弁当購入の申込方法については、大会ホームページに掲載いたします。お弁当代は当日現金でお支払いください。

<https://www.jsfs-family sociology.org/conf/2024/>

なお、徒歩 10 分圏内に、レストラン、スーパー、コンビニがあります。学内のコンビニは工事のため大会期間中、閉店になっています。

<https://www.jsfs-family sociology.org/conf/2024/participant.html>

- **宿泊**

JR・地下鉄市ヶ谷駅、飯田橋駅、九段下駅周辺には多くのホテルがあります。以下のホテルはよく利用されますが、周辺には他にもあります。いずれのホテルにも学会特別料金はなく、ホテルから会場までの送迎サービスも提供しておりませんので、あらかじめご了承ください。

アルカディア市ヶ谷

<https://www.arcadia-jp.org/access/>

グランドヒル市ヶ谷

<https://www.ghi.gr.jp/access/index.html>

京王プレッソイン東京九段下

<https://www.presso-inn.com/kudanshita/>

研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告（口頭）の**報告時間は 20 分、質疑応答は 10 分**です。報告者と司会者は、セッション開始 15 分前に会場の前方に集合してください。報告者はご自身の報告開始時間のいかんにかかわらず、この時間に集合してください。配布資料がある方は会場系の学生にお渡しください。

- **大会当日の配布資料**

報告資料は、オンライン上にアップしてください。詳細は別途お知らせします。**当日配布を希望する方は、各自で用意してください**。部数は、自由報告 50 部、テーマセッション 80 部を目安としてください。会場でのコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できませんので、ご了承ください。配布資料が余った場合は、部会終了後、会場系の学生が「残部コーナー」（会員控室）に移してくれますので、部会に参加できなかった参加者にも読んでいただくことができます。「残部コーナー」に移された資料は、2 日目の 14 時までに引き取りがなければ、大会事務局にて廃棄します。

- **自由報告・テーマセッションの司会者の方へのお願い**

参加者の便宜のため、報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。

- **PowerPoint 等の使用に関する注意事項**

- a. 報告会場となるすべての教室に、ノート型パソコン（Windows, Microsoft Office）が備え付けてあります。
- b. Microsoft-Power Point の pptx もしくは ppt 形式、と PDF 形式で保存したデータを USB メモリに記録してお持ちください。
- c. **機器を使用する報告者**は、部会**開始 15 分前**に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。
- d. 開催校ではできるかぎり準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して配布可能な印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考えください。
- e. ご自分のパソコンを持ち込んで使用する場合、開催校では**HDMI ケーブル**による接続となります。変換アダプタ等は会場に備え付けられておりませんので、あらかじめご了承ください。
- f. レーザーポインタなど、他に必要とされる機器はご自身でご用意ください。

大会期間中の託児室の設置

- 今大会では託児サービスの利用が可能です。詳細は後日、大会ホームページに掲載します。そちらでご確認のうえ、申込を行ってください。

大会期間中の学内無線 LAN の利用

- 無線 LAN が利用できます。詳細は当日、受付にて案内します。eduroam（大学等高等教育機関無線 LAN ローミングサービス）も利用可能です。

その他

- 出版社による書籍・雑誌の展示・販売コーナーは未定です。申し込み・問い合わせは大会実行委員会事務局宛にメールにてご連絡ください。
- 例年同様、抜き刷り交換コーナーを設けます。なお当日の抜き刷り冊子の管理（展示、撤収など）については各自の責任で行ってください。
大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局宛にメールにてお問い合わせください。

会場案内

【会場・連絡先】

大会実行委員会事務局

住所 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

メールアドレス：jsfs-taikai☆bunken.co.jp（☆は@に変更してください）

大会本部（大会当日）：大内山校舎 5 階

【会場へのアクセス】

法政大学市ヶ谷キャンパス

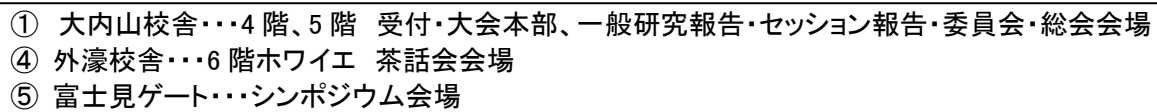
交通アクセスの総合情報：<https://www.hosei.ac.jp/ichigaya/access/>

JR・地下鉄 市ヶ谷駅、飯田橋駅から徒歩 10 分、地下鉄九段下駅からは徒歩 15 分です。詳しい情報は大会ホームページに確認してください。

<https://www.jsfs-familysociology.org/conf/2024/map.html>

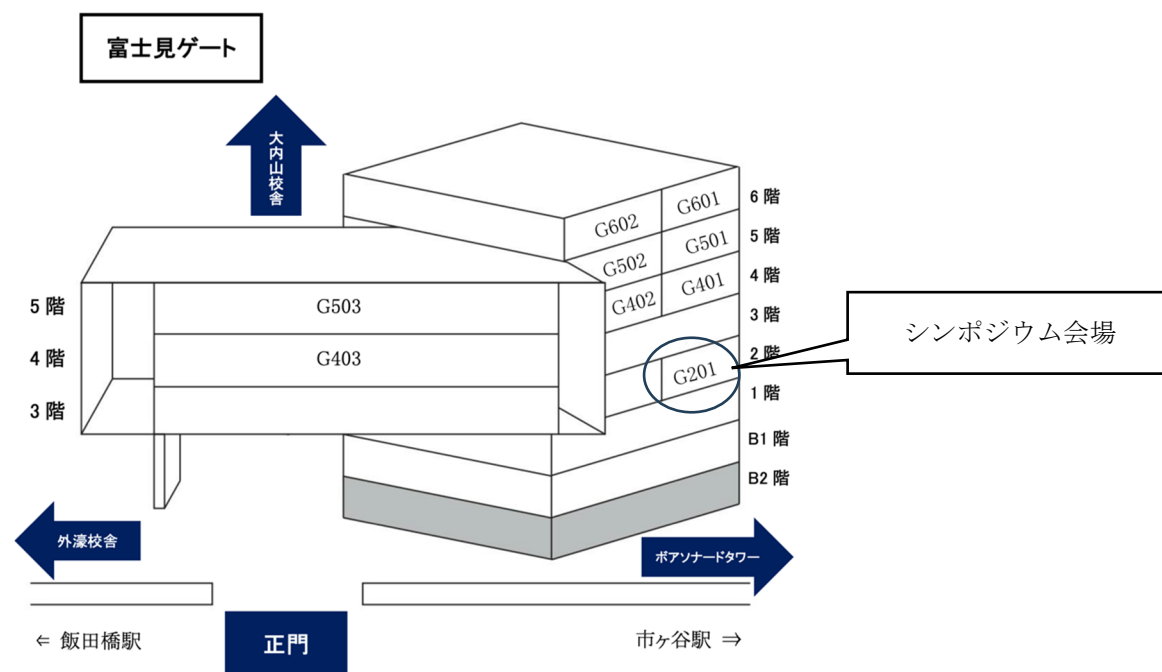
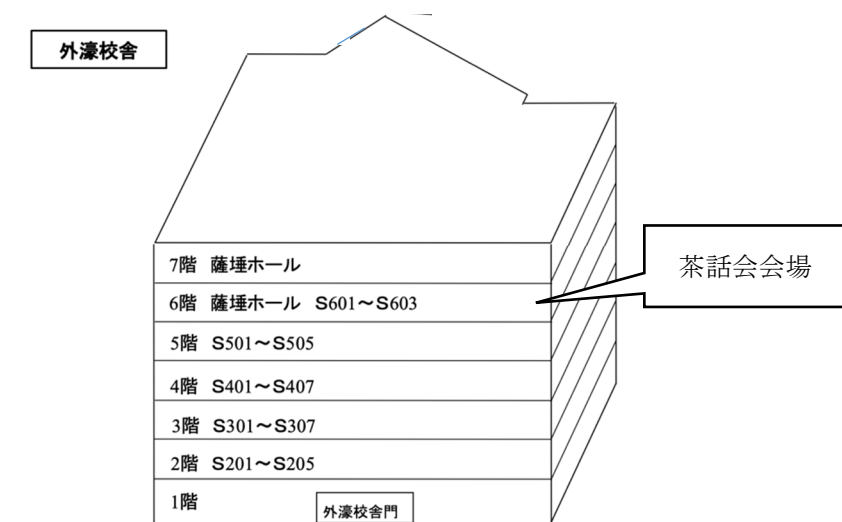
＊お車でのご来校はご遠慮ください。

会場案内



8階	Y801	Y802		Y803	Y804	Y805	
7階	Y701	Y702		Y703	Y704	Y705	
6階	Y601	Y602	Y603	Y604	Y605	Y606	
5階	Y501	Y502	Y503	Y504	Y505	Y506	
4階	Y401	Y402	Y403	Y404	Y405	Y406	
3階	会議室	通信教育部 事務室		教授室		キャリア情報 ルーム	
2階	ラウンジ	グローバルラウンジ	ERP教室	グローバル教育センター事務室			総務部庶務課 事務室
1階	ラウンジ	学務部学部事務課 事務室					

西エントランス



【大会実行委員】

実行委員長：コー ダイアナ

実行委員：佐伯英子・平森大規・菊澤佐江子

社会学の各分野に対応する新しい入門テキストが登場!!

「入門・社会学」シリーズ ー現代的課題との関わりで

③ 入門・家族社会学

山下亜紀子・吉武理大 編著 ●208頁 定価2420円

現代の家族を理解することに主眼をおいた家族社会学の新しいテキスト。現代に生きる私たちは、どのような家族のなかで生活しているのか、生活していく中でどのような問題を抱えているのか。



① 入門・社会学

山本努・吉武由彩 編著

② 入門・地域社会学

山本努 編著

④ 入門・福祉社会学 ⑤ 入門・環境社会学

吉武由彩 編著

牧野厚史・藤村美穂・川田美紀 編著

新・現代農山村の社会分析

高野和良 編著 ●204頁 定価2530円

現代における農山村での生活の実態とこれからのを考える1冊。前著に九州地方での新たな社会調査結果を加えた新版。生活構造概念を方法論的に採用し、西日本農山村の変化の諸相を分析。



21世紀の家族づくり 第2版

増子勝義 編著 ●264頁 定価2970円

ニュートラルな視点から家族をとらえなおし、あたらしい時代の「家族」について考える。専門的視点から、家族の新しいとらえ方を提示し、21世紀の家族をめぐる諸現象について解説。



〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

日本社会分析学会 監修

シリーズ生活構造の社会学

●268頁 定価2860円

① 生活からみる社会のすがた

稲月正・加来和典・牧野厚史・三隅一人 編著



② 社会の変容と暮らしの再生

室井研二・山下亜紀子 編著

●298頁 定価3300円

生活に着眼した社会分析を目指すアプローチによる社会学シリーズ。1巻は入門編・2巻は研究編。生活構造論・社会学概念の可能性を示す。

【続】少子化論 出生率回復とく自由な社会>

松田茂樹 著

●300頁 定価3080円

日本のこれからの少子化対策のあり方、および個々具体的な政策を提言する。

変容する社会と社会学 家族・ライフコース・地域社会

岩上真珠・池岡義孝・大久保孝治 編著

●336頁 定価3850円

社会学理論、農村社会学、家族社会学等、各々のテーマで変容する社会に対して切り込む。

オトナ親子の同居・近居・援助 夫婦の個人化と性別分業の間

大和礼子 著

●224頁 定価2090円

新しい世代間関係のあり様を社会学理論と調査分析から探る。



ジョナサン・H・ターナー 著

社会学の理論原理

●432頁 定価6600円

●450頁 定価7480円

vol.1 マクロ・ダイナミクス 正岡寛司・山田真茂留・畑山要介 訳

vol.2 ミクロ・ダイナミクス 正岡寛司 訳

人類の歴史を見渡し、社会なるものの進化の過程を理論的に探究し続けてきたターナーの研究をまとめた社会学原論の集大成。

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com